

再発防止に向けた取り組みについて

美浜1号機湿分分離加熱器加熱蒸気室ドレン抜き栓他からの蒸気漏れ事象に鑑み、漏えい原因の究明ならびに類似箇所の点検、さらには他ユニットへの水平展開を確実に実施していくとともに、現在の2次系設備の保全内容やその実施状況の適切性を調査・分析し、2次系機器からの蒸気漏れ、熱水漏れに対する2次系設備保全の高度化を図っていくこととします。

記

1. 類似箇所の点検及び他ユニットへの水平展開

今回の漏えい事象ならびに1月20日に発生した湿分分離加熱器ドレンタンク閉止栓からの漏えい事象は、いずれも容器の貫通穴の栓からの漏えいという共通事象であることから、類似箇所として、2次系設備のタンク、熱交換器の貫通穴に栓を施されている箇所を抽出し、その健全性について栓の形状に応じた方法により点検を行ない、必要な対策を実施します。

(点検時期)

美浜1号機

今回の停止中に実施します。

現在、定期検査中のユニット(美浜2号機、美浜3号機、高浜2号機)

今回の定期検査中に実施します。

運転中のユニット

類似箇所が存在する機器の当該部の保温外表面から目視により現時点で蒸気漏れや水漏れがないことを確認します。なお、保温を取り外しての点検を次回定期検査時に実施します。

2. 2次系機器の点検・設備管理のあり方について

今回の漏えい事象ならびに1月20日に発生した湿分分離加熱器ドレンタンク閉止栓からの漏えい事象を踏まえると、現在、強化中の2次系配管肉厚管理に加え、機器を含めた2次系全体の信頼性向上の為、保全の強化が必要と考えております。

今後、2次系機器からの蒸気漏れ、熱水漏れに係る労働安全も考慮した設備保全プログラムを整備し、全プラントについて、計画的な点検・保守を実施していく所存であります。

以上